

平成28年度 地方創生加速化交付金事業 検証シート

事業名	霧島市の魅力増幅プロジェクト
担当部局課名	商工観光部霧島PR課

1. 事業概要等

目的	市民等のまちへの愛着度を高め、共にまちの魅力づくり・発信に取り組む参画人口を増やし、持続可能なまちの発展を目指すための基盤を作る。 また、民間のノウハウを活用した戦略的なPRや全国版メディアが取り上げられるようなイベントを開催し、メディアの露出を獲得することで霧島市の認知度を高め、本市への交流・移住人口の増加につなげる。		
経費内容	総経費 56,177,228円 (うち交付対象外 1,177,228円) ・旅費 358,290円 ・消耗品 402,490円 ・印刷製本費 330,480円 ・通信運搬費 85,968円 ・委託料 55,000,000円		
交付額	55,000,000円	交付対象事業費	55,000,000円
事業始期年月	平成28年6月1日	事業終期年月	平成29年3月31日
霧島市ふるさと創生総合戦略との関係性	基本目標 II 訪れたい、住みたいまちづくり		
	関連施策 II-① I・J・U 移住天国霧島魅力倍増計画		

2. 本事業における重要業績評価指標 (KPI)

指標	成果の方向	H27基準値	H28実績値	目標値
KPI① 移住者数	↗	154人	178人	100人
KPI② 交流人口 (観光客数)	↗	7,557,000人	7,568,000人	8,110,000人
KPI③				
KPI④				

3. 本事業の地方創生への効果

事業効果
地方創生に相当程度効果があった

【凡例：選択肢】

① 地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
② 地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③ 地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④ 地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

4. 実績値を踏まえた今後の事業展開の方針

今後の方針	今後の方針の理由
事業の継続	霧島市を愛する人を増やすためにスタートした「クリスマススター制度」をさらに推進する。また民間のノウハウを活用したメディアへのPR活動を行い、効果的な情報発信とメディアとのネットワーク構築を図る。さらには、魅力づくりと情報発信を官民一体で行う仕組みを構築することで、交流・移住・定住人口の増加とまちの活力につなげる。

【凡例：選択肢】

① 事業の継続 (計画通りに事業を継続する)
② 事業の発展 (事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)
③ 事業の改善 (事業の効果が不十分であったことから見直し (改善) を行う (または、行った))
④ 事業の中止 (継続的な事業実施を予定していたが中止する (または、した))
⑤ 事業の終了 (当初予定通り事業を終了する (または、した))